

令和5年度 第2回 与進中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年7月12日（水） 9時30分から11時30分まで
- 2 開催場所 与進中学校 会議室
- 3 出席委員 佐口 丈夫司、 小池 祥之、 中根 その美、 栗田 孝代、
間瀬 宗親、 杉山 和希
- 4 欠席委員 吉田 みさ子
- 5 オブザーバー 石井 智也（長上協働センター所長）
- 6 学 校 中村 達弥（校長）、田中 健之（教頭）、古橋 宏直（主幹教諭）
加藤 美希（CSディレクター）
- 7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 加藤 美希（CSディレクター）

10 協議事項

(1) 会長あいさつ

委員のみなさんの意見を聞きながら色々なかたちで応援していきたいと挨拶があった。

(2) 校長あいさつ

- ・コロナ禍をきっかけとして組織や行事の見直しを図っている。
- ・今までの教育は10年後を見据えて、こうなっていくからこのような教育が必要だという考えがあったが、今は10年後が予測不能の未来に変わっている。
一人一人が状況を判断し、主体的に動いていけるいわゆる「生きる力」を身につけさせる事が大切である。
- ・教育界の動きは大きく変わろうとしている。新学習指導要領に基づいて、個別最適な学びと協働的な学びを実現させていくことを求められている。
- ・土日の部活動の地域クラブへの移行。浜松市では令和8年から、随時実施。
地域の人材の発掘や体制づくりが急務。教職員の働き方改革とも関連してくる。
- ・様々な課題が山積しているので、ぜひこの学校運営協議会の皆様とも共有し、知恵を出し合いながら、一つ一つクリアしていきたい。

(3) 議長選出

佐口会長へ事前に議長の依頼をし、承諾を頂き、全員異議なく承認した。

(4) 前回会議録確認

ホームページを活用し、第1回学校運営協議会の会議録を確認。

(5) 熟議

① 授業参観振り返り

- ・発達支援学級を参観した。温かい教員の対応があり、1対1で生徒に寄り添っている姿が見られて良い。人数的にゆったりしていて、教員ともコミュニケーションがとれている。発達支援学級の生徒の行事参加について知りたい。（小池委員）

- ・発達支援学級の生徒が通学している校区を知りたい。（杉山委員）
 - 発達支援学級・交流級について説明。（中村校長）
 - 現在、浜松市の中学校全てに発達支援学級はない。（教育総務課 堀田）
- ・与進中の発達支援学級の生徒は自分の校区に通学できていて良い。（栗田委員）
- ・理科室での授業を参観した。とても暑い。暑いと勉強に集中できないため、勉強に対する環境は大切。（小池委員）
- ・今の子どもは昔の子どもと違って暑さに慣れていないので、熱中症が心配。（栗田委員）
- ・熱中症警戒アラートのルールを知りたい。（小池委員）
 - WBGT(湿球黒球温度「暑さの指数」)を使用し、状況を把握すると共に職員を通し生徒に注意喚起をしている。（中村校長）
- ・与進中の生徒は上靴のかかとを踏んでいない。生徒指導が行き届いている。（間淵委員）
- ・生徒の身だしなみは心を表す。きちっとされていて感心している。（小池委員）
- ・トイレの臭いが気になる。（間淵委員）
 - 今年の3月、業者による特別清掃を行った。配管工事が出来ないため、定期的に清潔に保つ努力をしている。（田中教頭）
- ・トイレは和式もあるが、家庭環境により慣れていない生徒もいるのではないかと。（小池委員）
- ・和式トイレの場合、トイレを我慢する生徒がいるので心配。（杉山委員）
 - 現在、洋式和式が混在している。昨年度は新たに最優先の場所に洋式をトイレ2つ設置した。（田中教頭）

② 1学期の教育活動について

ブログを活用し、1学期の活動の様子を説明した。

5/29 生徒会執行部から「生活のきまり」の見直しの嘆願書が校長先生に渡された。

校則は全体の調和を取りながら変更していく。

- ・時と場合を考える判断力が大切。（小池委員）
- ・個別最適な学びは授業だけでなく校則でも個々が求められている。（中根委員）
- ・校則で男子の髪型のツーブロックは禁止とされているが、現在企業の求人も変化しており、ツーブロックを承認している企業もある。（佐口委員）
 - 生徒の中には校則に対して厳しい意見を持っている生徒もいる。（中村校長）
- ・今回ブログを通して生徒の活動を説明していただいた。今後、生徒の様子を毎日確認しようと思う。（中根委員）
- ・特にイベントの時は子どもの様子が気になるのでブログを活用したい。（杉山委員）
- ・ブログで最新の生徒の様子を知りながら、今後も委員のみなさんの意見をいただきたい。（佐口委員）

③ 学校支援活動について

2年生になると総合的な学習の時間で職業体験があり、様々な企業への受け入れをお願いしている。発達支援学級も同様であり、受け入れの支援や方法など、意見やアイデアをいただきたい。発達支援学級全学年参加で教員が同行し、2時間程度の作業を希望する。（田中教頭）

- ・浜商の就職支援事業に携わっているが、地元には良いメーカーがあるため、様々な企業などから意見を聞くべきである。（佐口委員）
- ・支援や方法は地区社協で広めるのが良い。
情報が入れば、すぐ学校に連絡する。（中根委員）
- ・理解してくださる方が大切であり、スケジュール等が合えば自分も一緒に参加したい。（栗田委員）
- ・個々の生徒に応じた場所を探し、リストアップができると良い。（小池委員）
- ・与進中卒業生で活躍している方をお願いする。（中根委員）
- ・地域のみなさんのお役に立ちたい。（協働センター石井所長）

(6) 連絡

自己評価表及び熟議チェックシートの説明（教育総務課 堀田）

さくら連絡網登録の説明（田中教頭）

次回の開催日は後日連絡する。